

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和4年11月2日(2022.11.2)

【公開番号】特開2021-186478(P2021-186478A)
 【公開日】令和3年12月13日(2021.12.13)
 【年通号数】公開・登録公報2021-060
 【出願番号】特願2020-97310(P2020-97310)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【FI】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 0 4 Z

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】令和4年10月25日(2022.10.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

20

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

始動条件の成立に基づいて特別図柄の変動表示を行い、該特別図柄の変動表示の結果として大当り図柄が停止表示されることで大当り状態に制御可能な遊技機において、前記始動条件が成立した場合に、所定の計数値を更新可能な計数値更新手段と、前記計数値が特定値になることで、前記大当り状態とは異なる特定状態に制御する特定状態制御手段と、
 を備え、

30

当該遊技機に対する電力供給が行われている状態にあるなかで前記計数値更新手段を有する特定基板に対する電力供給のみが遮断され、その後該電力供給が復帰した場合には、前記計数値を維持しないことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

40

上記した目的を達成するために、請求項1に係る発明においては、始動条件の成立に基づいて特別図柄の変動表示を行い、該特別図柄の変動表示の結果として大当り図柄が停止表示されることで大当り状態に制御可能な遊技機において、前記始動条件が成立した場合に、所定の計数値を更新可能な計数値更新手段と、前記計数値が特定値になることで、前記大当り状態とは異なる特定状態に制御する特定状態制御手段と、
 を備え、

当該遊技機に対する電力供給が行われている状態にあるなかで前記計数値更新手段を有する特定基板に対する電力供給のみが遮断され、その後該電力供給が復帰した場合には、前記計数値を維持しない

50

ことを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記構成では、始動条件が成立した場合に計数値を更新し、計数値が特定値になることで特定状態に制御することから、大当り状態に制御するか否かだけの単調な遊技とならない。また、当該遊技機に対する電力供給が行われている状態にあるなかで計数値更新手段を有する特定基板に対する電力供給のみが遮断され、その後に該電力供給が復帰した場合には、計数値を維持しないことから、電力供給を特定の態様で遮断して計数値を特定値に近づけようとする不正行為が行われたとしても、計数値が特定値に近づくことがなく、不正行為に対する抑止力を発揮することができる。その結果、遊技機の信頼性の低下を抑制することができる（例えば、段落2364～2377、図216等の記載を参照）。

10

20

30

40

50